

2023 年度 第 1 回町田市男女平等参画協議会 議事要旨

日時： 2023 年 8 月 18 日（金） 9 時 30 分～11 時 30 分

場所： 町田市庁舎 10 階 会議室 10-1

出欠： 五十音順・敬称略

石川 英子、石阪 督規、岡本 直子、近藤 わかな、下田 幸子、鈴木 悟、茶谷 武志、
山口 隆三、横島 佳子、吉浦 和幸

議事：

1 委嘱式

2 市民協働推進担当部長 横山部長 あいさつ

3 委員自己紹介、事務局自己紹介

4 会長及び副会長の選出

全会一致で石阪会長、岡本副会長に決定。

5 (1)第 5 次町田市男女平等推進計画について

一事務局から資料 3「町田市男女平等参画協議会設置要綱」、資料 4「2023 年度第 1 回男女平等参画協議会」、資料 5「進捗状況確認シート（抜粋）」を説明

【委員】 イベント参加者の声をどのように聴取し、業務へ反映しているか。

【事務局】 各部署でアンケートを取り、結果を次年度の業務に反映している。

【委員】 評価する上で、参加者の声をどのように反映したのか記載されていると議論しやすい。

【委員】 企業賞の辞退理由を聞きたい。近年応募が少ないのは企業賞の魅力が伝わっていないからではないか。企業にとってのメリットは何か。

【事務局】 辞退理由は、先方の事情である。企業賞の周知は、パンフレット等を配布している。市ホームページ等で受賞企業の情報を発信していることが企業のメリットになる。受賞は一度のみであること、ワーク・ライフ・バランスの考え方は時代とともに変化し、この変化への対応が課題である。

【会長】 認定制度にしてみるのはいかがでしょうか。東京都の「えるぼし」のような★をつけるなどの制度もありうる。企業賞のロゴ等はあるのか。

【事務局】 企業賞用のロゴはない。

【副会長】 企業賞のエントリーシートも 10 年程前に作成したもので時代に合っていない。見直す必要がある。何度も応募できるようにすると良い。法人に限らず個人事業主向けも検討してはどうか。

【会長】 企業の取り組みはどのように確認をしているか。

【事務局】 実際に事業所へ行き聞き取り調査を行っている。

【副会長】 企業賞の存在を知らない場合もある。周知の対象を広げていくことも課題である。

【会長】 企業にとって魅力的なメリットを伝えなければならない。

- 【委員】企業賞を受賞すると会社のメリットになることを魅力として広げていく方法もあるし、会社のステイタスになるという考え方で広げていく方法もある。
- 【会長】例えば、ワーク・ライフ・バランス準備企業のような形をつくり、ブラッシュアップして本申請できるような仕組みも良い。
- 【委員】自分の会社を良くしていこうという意識につながって良い。
- 【委員】人材不足である企業は、会社の PR として活用し人材確保につなげることがメリットになる。
- 【委員】地元密着企業を評価するという事は大切である。
- 【委員】事前に説明できる場があると良い。ハローワークの求人情報に掲載するのも有効である。
- 【会長】受賞した企業が PR できる場はあるか。
- 【事務局】広報、市ホームページに掲載している。
- 【会長】企業賞のちらしはどこにあるか。
- 【事務局】法人会の会合、商工会議所で配布している。
- 【委員】SNS での情報発信が効果的と考える。
- 【会長】認定制にする、準備段階で支援する、会社にとってのメリットなど様々なご意見が出た。事務局で整理して検討していただきたい。
- 【委員】ハラスメントについて、各企業に伝えていく必要がある。
- 【会長】経営者向け、中堅向け、若手向けと対象を分けるとより効果的である。
- 【委員】女性トイレに相談カードを設置しているが、女性に限らず男女両方にアプローチが必要である。
- 【会長】男性の相談は多いか。
- 【委員】男性からの相談もあるが、男性の方が相談しにくい印象がある。
- 【会長】男女両方に向けて相談体制が取れるように検討していく必要がある。
- 【委員】性の多様性に関する教職員向け研修について、対象、開催頻度など継続の仕方を考えていく必要がある。
- 【事務局】今年度は、生活指導主任会の中で研修という位置づけで実施する予定である。各学校へ持ち帰り教職員へ伝えてもらいたいと考えている。継続して実施できるよう調整していきたい。子どもたちへ伝えることがとても大切と認識しているが、まずは教職員の方に理解していただくことを目的としている。
- 【会長】全教職員にみてもらうため動画配信があると良い。
- 【委員】新任研修での実施も効果的である。

(2) 町田市パートナーシップ宣誓制度について

一事務局から資料 6「町田市パートナーシップ宣誓制度利用の手引き」、資料 7「取組報告」を説明一

- 【委員】宣誓件数について、0 と 1 では大きく違う。決して少ないという印象はなく、宣誓があったことは重みのあることである。多摩地域の自治体と共同で「東京 10 市 net」として東京レインボープライド 2023 に出展したことも大きな成果である。

6 事務連絡

次回の参画協議会について確認。

以上